

アイテム

2010
春
Vol.11

(財)伊丹市文化振興財団
TAKE FREE

特集

世界の音楽はアイフォニクに集う
ワールドワイド伊丹



新連載!!

伊丹市制70周年企画
【伊丹と私は同じ歳】

【THE部活】
～県立伊丹高校 吹奏楽部～

大好評の連載陣

【芸は身を助く】土でメンタルケアを施したい

【終演後の一軒】草花の細密画と多彩な野菜串

【クラフト作家の仕事を訪ねて】

【舞台の裏側】

時間を見つけてちょこちょこ

空間を一変させる音の醍醐味



舞台の裏側 【アイホール】

華やかな舞台を支える巨大装置やハイテク、職人技。
普段は見ることでできない裏技をお見せします。

空間を一変させる音の醍醐味

客席奥の右手から舞台左手へ飛んでいく羽ばたきに、思わず天井を見上げた。しかし鳥は見えない。音の出る方向や音量で錯覚させているのだ。ここに音響マンの仕事がある。聴き違える程のリアリティには想像を超える手間がかかる。音はありのまま録音しても期待通りにはならない。勘と経験から絶妙な調整を施す。稽古場では問題なかったとしても、実際の劇場で聴けば「響きが変わった」と演出家から修正を指示される事も。本番までの限られた時間の中で間に合わせるには、問題点を最短で分析する冷静さと精神的なタフさが求められる。

一方、本番では舞台の流れに全神経を注ぎこむ。音量を調整するフェーダーの操作では、キッカケを間違えないよう役者全員の「間」に合わせる。途切れる事のない緊張の連続だ。苦勞を乗り越え、出された音響は空間を一変させる。「その瞬間こそ、音が生きていると感じ、仕事の醍醐味が味える」と口にする。勿論、自己満足で終わらない全体のハーモニーが肝要だ。舞台は役者、美術、照明が相まって、感動を与え、総合芸術だからだ。まさに舞台にはスポットを浴びない大勢のスタッフによるこだわりが詰まっているのだ。



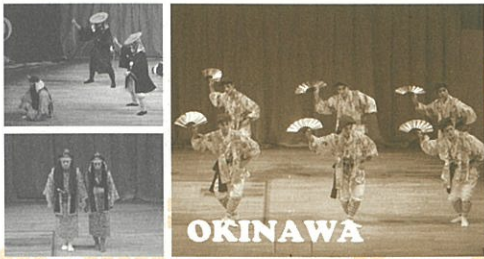
【取材と文：梅田康行】事業企画課施設担当。「困ったら僕に聞け」舞台、音響、電気、パソコン…7つの施設の管理を一手に引き受けるメカニクマン。「得意料理のスパニッシュオムレツで、スペインを感じています。」

伊丹のふるさと寄附

ご寄附を通じて、ふるさと伊丹を応援してください

伊丹市では「夢と魅力のあるまち伊丹」の実現に向け、様々な施策に取り組んでいます。寄附金の活用は「芸術・文化」「スポーツ」など10テーマからご指定いただけます。

【お問合せ】伊丹市総合政策部政策室 TEL.072-784-8007 <http://www.city.itami.lg.jp/furusatoitami.html>



OKINAWA

No.136「島風に歌う 宜野産の祭り」沖縄から総勢70名！豊年祭で演じられる組踊や獅子舞など。



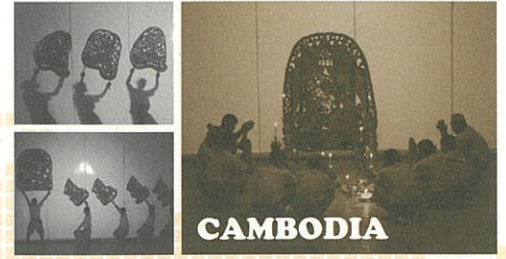
TANZANIA

No.137「眩しいタンザニア ドラム&ダンス」汗！踊り！歌！太鼓！タンザニアの熱風が舞台上に。



BHUTAN

No.140「歌い、踊る パロ谷の春」ヒマラヤの幸せ王国ブータンから、仏教儀式で踊られる仮面舞踏など。



CAMBODIA

No.145「光と影のパノラマ カンボジアの影絵芝居」上演前にはさまざまな供物を並べた祈りの儀式も。



伊丹市民にとって発表会等でおなじみの音楽ホール「伊丹アイフォニックホール」では、実は知る人ぞ知る世界各地の音楽と踊りのコンサートが繰り広げられているのです。

日夜、ココで世界とのやりとりが。お国自慢の芸能が華開く音楽ホールです。



伊丹アイフォニックホール

「地球音楽シリーズ」を中心に、世界の伝統音楽・芸能を紹介する。デザインは市花のツツジがモチーフで美しい。伊丹シティフィルハーモニー管弦楽団のほか、市内音楽団体の活動拠点。

ワールドワイド伊丹 世界の音楽はアイフォニックに集う

◎取材と文：中脇健児・内山真理子(編集部)、松居令子(市民サポーター)



HUNGARY

No.139「華麗に、勇壮に、舞い交わすハンガリーの男たち」刺繍が施された美しい衣装、大胆な跳躍、と見どころ満載。



CUBA

No.134「ラテンリズムの源流 ソンの神髄」カリブの国から100%ラテンなダンス音楽「ソン」。

民族の数だけ音楽が

総勢40名が輪になって、音楽にあわせたステップを踏みながら半円になったり、円になったり形を変える。華やかな衣装と独特の調べに異国情緒が漂う踊りは、東欧のセルビアのフォークダンスだ。「地球音楽シリーズ」と題するこの公演の舞台は伊丹アイフォニックホール。残響1.9秒を誇る関西屈指の音楽専門ホールは「地球上には民族の数だけ音楽がある」と開館当初より年間約8本、各国の音楽と踊りを紹介している。今春なんと150回を迎え、これまで紹介してきた国と地域は50を超えた。

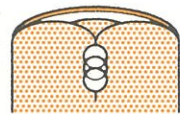
リアル異文化。未知との遭遇

「商業化されていない、ありのままの表現を」と「日本初」となる音楽の紹介にこだわり、年に数本は直接現地と交渉にあたる。「日本の常識では考えられない事態に悪戦苦闘の日々です」と担当する内山真理子さんは、民族音楽ならではの儀礼や

習慣の違いを語る。カンボジア公演では「宗教儀式を行うので豚の頭と鳥の丸茹でが必要」という要望に、鳥だけどうにか納得してもらおうも、今度は伊丹中の肉屋へ相談に走り回った事や、日本の芸能であっても青森や沖縄では方言の壁で意思疎通に苦労した。

暮らしに溶け込んだ音楽

一方、移動中の車内ではみんなが歌い、自然に楽器をひきはじめる場面は、どの国にも共通してあるという。「出演者の方々を見ると、いかに暮らしの中に音楽が溶け込んでいるかがわかりますね」と内山さんは民族音楽の成り立ちを肌身で感じているようだ。接する3つの地区を一緒に誘致したキッカケから出演者間に交流が生まれた、なんていい話も。「皆さん、初来日や初めての舞台公演の場合もあるので、喜ぶ顔が見られるのはうれししいし、新たな出会いを作っている、という喜びは得難いですね」と充実感を語ってくれた。



アイフォニックの人気講座に迫る
 宗教・言語・風俗・芸術・衣食住など世界各地の「いま」に触れられるシリーズ文化講座「話題の地球儀」。自称雑学王の編集長・中脇が事業担当の内山さんにその魅力を伺います。

中脇(以下N) サロンタイトルがすごいですね。**※1**。「ラッパと人間の絆」「ウンとホラはなぜ吹くのか」「音痴の真相」。「富山藩前田家、奥女中の常識」ってなんですか？昼ドラのタイトルルかと思いました。

内山(以下U) 富山の民謡公演と関連した講座なんです。

N 民謡と奥女中、距離がかなりありますね…。もっつ、バツと見てワァー！となるやつは？

U 「あれも食べられる、これも食べられる」ではどうでしょう。食の偏見を払拭するために、ア



サロン169「ベルシア宮廷音楽のドラマ」。ベルシア5000年の歴史に思いを馳せつつ…。



サロン180「フランス 香りの文化とフレイバーティー」。おいしい紅茶の入れ方実演のあとは麗しのティータイム。

シアの食文化を紹介した中の「血をかためた食べ物」は強烈**※2**でした。

N 「ワァー！」違いっすよ。ところでサロンでは実際に食べながら楽しむ講座もあるって聞いたんですが。

U スウェーデンではシャケペーシトを食べてもらいましたね。イタリアはワインとチーズ。トルコ料理などもありました。**※3**

N 民族衣装を着られるとか、体験ネタはより記憶に残りそうですな。**※4**



サロン179「インド 西ベンガル地方に住むボトウたち」。現地でボトウ(絵巻物師)の手法を学んだ東野健一氏を迎えて。

N なるほど。とりあえず「興味ありそうなものから行く」が正解ですね。

U 確かに異国の生活ぶりがあるものは旅行気分になれて人気ですね。風景・料理・暮らしが三大キーワードのようです。

N 現地に滞在経験ある人の話は愛情もひしひし感じられて楽しそう。

U 実際なごみますよ。**※5**。雑貨店の店長とか、輸入会社の社長さんの話など聞きごたえがあります。講師ラインナップは切り口豊富ですから、必ず好奇心そそられる話題に出会えると思いますよ。

- ※1 FMCOLOパーソナリティーによる「インドから日本へ…ぼく、がんばってます」(No.85)は名タイトルだと思う。
- ※2 他に「インドネシア・スラウェシ 生と死を歌うトラジャ族の祭り」(No.173)が、牛の生贄の映像を流した。
- ※3 「スウェーデンの心」(No.118)、「トルコ 旅の味、暮らしの味」(No.164)、「イタリアのワインとチーズを巡る」(No.167)。
- ※4 「高野山の声明～音楽としての声明」(No.122)では声明を唱える体験ができた。
- ※5 内山さんのお気に入り「幸せ王国ブータンに暮らして」(No.175)。ブータン地方行政プロジェクト専門家で駐在歴11年の人が講師だった。

★気になったあなたへ今年のラインナップをご紹介します★

アイフォニック民族文化サロン 話題の地球儀

各回1,500円。半期5回通し券は5,000円。

- | | |
|--|------------------------------|
| □4/26(月) 19:00 「南アフリカとワインの魅力」 | □5/22(土) 「山形の芸能 山麓の郷から」 |
| □5/16(日) 15:00 「出羽三山 死と再生の山伏修行
～羽黒山・月山・湯殿山の真実～」 | □6/27(日) 「夢のアメリカン・プラス！」 |
| □6/7(月) 19:00 「食に込められたアメリカの人々の夢と信念」 | □8/28(土) 「コルシカ島から地中海のポリフォニー」 |
| □7/19(月・祝) 14:00 「コルシカ島-地中海の独自の民族文化」 | □11/6(土) 「フィンランド最強のフィドル軍団」 |
| □9/6(月) 19:00 「芸能の島国ボク」 | □12/11(土) 「救ひの絶唱 GOSPEL」 |
| | □2/19(土) 「踊る!歌う!ジブシーパラダイス」 |
| | □3/20(日) 「メコンの風に歌う」 |

※申込・問合せは伊丹アイフォニックホール(072-780-2110)まで。

※地球音楽シリーズ、話題の地球儀ともに過去開催リストはHPにて公開中。http://hccweb1.bai.ne.jp/aiphonic/

国境なき教師の姿

大学時に日本人の先生から薦められ伊丹初めの英語教育の指導助手として来日。20年を過ごす。気に入っている日本語は「まあまあ」。「一言でいえるんな意味があるし、やわらかい表現がケンカにならないでしょ」と日本人顔負けな理由を語る。取材中、通りかかる生徒が何度となく話しかけていく。「ふれあいがあるのは恵まれてますよ。僕は生徒から日本語を学んだから。彼らもたくさんのごとに興味を持ってほしいね」と国境を越えた教師の姿が印象的だった。



ピーター・コールマン from アメリカ AMERICA

世界は意外に近かった。伊丹在住の外国人をご紹介します。

伊丹に住む世界の人々

親族総出のジャパニーズドリーム

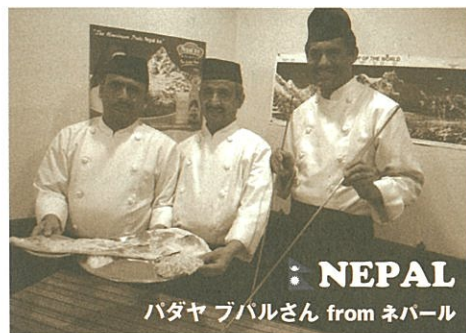
手際よく目の前でナンを焼き上げる。伊丹唯一のネパール料理屋「サバエナック」だ。現地語で「一つの夢」。「世界で一番安全な国、日本で店を出す」がオーナーシェフであるパタヤブバルさん(写真左)の小さい頃からの夢だった。コック修行に出たのは18歳。「一番おいしいナンを焼けるようになるために」と手始めにインドに行った情熱には頭が下がる。「常連さんは近所の人が多い」と伊丹にとけこみ、今では学校から授業で喋ってほしいと要請があるほど。最近ではついに兄と義弟を招き、親族総出で運営する毎日だ。



BELGIUM ハンス・ルーベンスさん一家 from ベルギー

SAKE が結ぶ伊丹とベルギー

伊丹とハッセルトの姉妹都市交流がキッカケで、日本で初めてベルギービールを輸入した小西酒造。現在、交渉を一手に引き受ける社員がハンスさんだ。大学の日本学科で学び、留学経験もあったが、転機は6年前。小西酒造に勤めていた友人が辞める際に求人を知り、思い切って届け出た。「最初聞いた時は驚いたけど、チャンスと思ってついていった」と共に日本学科で学んでいた奥さんのアンさんは当時は振り返る。子供ができたならベルギーに帰る予定であったが、「日本は専業主婦の方が多から、お友達ができやすい」と居心地の良さから、まもなく3人目の出産を迎える。「子供の面倒をしっかり見てくれるから、安心して働けるよ」とハンスさんはやさしくほほえむ。



NEPAL

バダヤ ブバルさん from ネパール

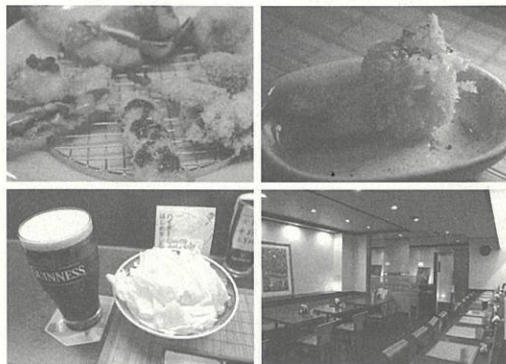
サバエナック 荒枚3-2-22

L:11:00-14:30(L.O)
D:17:00-22:00(L.O)
TEL.072-778-7655

伊丹には感動の余韻を楽しませてくれるお酒と料理がちゃんとありました。

終演後の一軒

A DOOR AFTER THE SHOW



おまかせ「ファールブル」コース1,280円（春野菜の串揚げ8本+新作デザート串。1日10食限定。展覧会期中提供。*5/22除く）。10食限定昼定食800円。おまかせ創作串揚げコースは「わかまつ」10本1,500円から。串単品100円から。樽生ギネスビールもオススメ。

4/10(土)~5/23(日) □会場:伊丹市立美術館
「プチファールブル 熊田千佳慕展-虫と花を描きつづけた細密画家」

絵で見る「ファールブル昆虫記」

「みちのちマイヤの冒険」より「スピーのバラのやいば」



「日本のプチファールブル」と呼ばれるほど、愛情を込め虫や花を細かな筆致でリアル

ルに美しい色彩で描き続けた熊田千佳慕。「ファールブル昆虫記の虫たち」の原画や初公開の図鑑シリーズなど200点以上の作品一挙公開。

4/10(土)~5/23(日)。10:00~18:00(入館は17:30まで)。月休。5/3閉館。5/6休。一般700円。072-772-7447。



看板職人のフクちゃん。

「うちの特製ソースは野菜に合うよ」とオーナーの沖井さんが創業当時の串職人フクちゃんと考えた内容は、色とりどりの草花が印象的な熊田の絵にちなんだ、春野菜の串揚げコースだ。一寸豆と

あざやかな草花の細密画と多彩な野菜串

時に、筆の穂先数本だけを使い、色鮮やかに細部まで描写された昆虫や草花。花畑が目の前に広がるような、美しい細密画の世界に感動する。そんな「熊田千佳慕展」のために創業42年の串揚げ専門店「串かつ吉野」が特別メニュー「おまかせ「ファールブル」コース」を作ってくれた。

自然の恵みを絵と串揚げで味わう一日。飲み干したビールグラスの底を虫がね代わりに、フクちゃんが出してくれた最後の串揚げを観察すると、ミツバチの触角のように衣の「つ」が美しくピンと立っていた。



串かつ吉野

中央1-5-5。TEL:072-772-0913
毎月曜と第1・3火曜休
11:30~22:30(金・土のみ25:00まで)

【取材と文:宮村賢治】いたみホール所属 アートプロジェクトのオモシロさにみせられ、日々商店街やまちなかをぶらつく。「この夏は、海を渡り犬島あたりでせめて一泊、瀬戸内国際芸術祭の「世界」が見たい」



財団四季の 芸は身を助く

「昆陽陶房」

昆陽池公園北に位置する陶芸工房。主宰は馬川晴美氏。陶芸を体験することもできる。1名からでも可。詳細はお問合せ下さい。(072-777-3457)

伊丹市文化振興財団・加藤四季。歌って踊れる「財団四季」がまちへ飛び出し、あらゆる教室やスクールに挑戦するツツゲキ系連戦。

土でメンタルケアを施したい

精神の乱れに苛まれる今日この頃。心の調和を図るべく、土に癒されに行きました。

陶芸家の馬川晴美先生を訪ねて、コンクリートの打ちっぱなしのデザイナーズマンションと見紛う昆陽陶房へ。中は本格的な窯を備えた工房で、意外性に興味津々です。

“紐づくり”という方法でマグカップを作成することに。土塊をゴルフボール大にもいだら、両手で伸べて直径1センチ程の紐状にし、一段ずつ重ねていくのですが、まさか土を均等に伸ばすという力加減すらできない自分の愚鈍な筋肉と感覚に苦笑。作品から受ける印象そのままの優しい先生からは「すぐにはできないよ」と慰めてもらい

つつも、へちゃげたかりんとう姿の紐を盛大に笑って頂きました。重ねていく作業も、積みは積むほど土の重さでくたたりと広がり「茶碗に変更するの!?’という情けない状態だったのですが、先生が土を撫でる様に持ち上げて下さるとシャンとするのが魔法みたいで思わず上がる感嘆の声。事ある毎に捨て犬顔でSOSを出し、何とか完成に漕ぎ着けました。

今回は形作りのみ体験させて頂き、多くの工程はお任せという何とも芸術への冒険のような取材でゴメンナサイ。先生がステキに焼き上げて下さるのを待つばかり。職場のカフェブレイクのお供になる日も遠くありません。楽しみ!



筆者側が例のかりんとう。手前が先生作。一目瞭然なガタガタぶり(苦笑)



いたれり尽くせり、心づくしの馬川先生。ありがとうございます。



実はロクロも回してみました。ほらっ性格が歪んでると土もね…。

【取材と文:加藤四季】いたみホール所属 声楽を学び、社交ダンスでは全国大会出場経験も持つ「歌って踊れる」ホールスタッフ。「チベット山岳民族のドキュメンタリー映像には、必ず私のそっくりさんがいます」





18歳で父を亡くし、家業の硝工業を継いだ。家計を支えながらグレる間もなくガラス筋の人生。今なお現役で活躍する。小物から重量のある大板のガラスまで持つため、両腕は普通以上に伸び、手の爪は平たくなった。独立後は毎日が納期との戦い。奥さんは何百枚も出荷前のガラスを拭いた。「赤ん坊やった長女にかまってやれなくて、泣き寝入りした顔の涙のあとが不憫だった」。それから40年、今の深刻な不況を見越していたわけではないが、息子さんには後を継がせなかった。

今日も七つ道具の「硝子切り」を握り、ガラス板にフリーハンドで切れ目を入れていく。「異型のカーブ切りが特に難しいね」。機械ではできない仕事やりがいが、



硝子・鏡加工職人の吉田弘徳さん。吉田硝工社長「一級ガラス施工技能士」。



趣味で作ったステンドグラスにも匠の技が光る。



すらすらと垂直な溝を刻んでいく

ガラス加工の技、磨き続ける70歳。



伊丹は小・中・高一般と全ての部門で全国大会クラスがひしめく。吹奏楽が盛んな街。その中で県立伊丹高校吹奏楽部は、関西吹奏楽コンクール等で多数金賞を受賞し、創部60年の歴史を誇る。校内最多

強豪、オモシロ、珍部活。青春の五手箱、知られざる放課後ライフをご紹介します。

THE部活

【県立伊丹高校吹奏楽部】

取材と文 ©内山真理子

生徒ではなく
ブレイヤーとして



の部員数は約80名、顧問は同校出身で指導歴16年の早川嘉彦先生。部活動中は「生徒ではなく、ブレイヤーとして接する」とのポリシーのもと、演奏会のプログラム選びから話し合いを持ち、自主性を尊重する。生徒たちは、「中途半端な演奏はできない」と練習漬けの毎日を送り、年間40回以上の演奏活動もこなす。「地道な個人・パート練習を積み重ね、合奏で音楽が一つになる瞬間が楽しい」と部長の大橋杏菜さんはやりがいを感じる。大人顔負けの礼儀正しさと音楽への真つ直ぐな姿勢にプロ意識を垣間見た。



左: 副部長・古本文香さん 右: 部長・大橋杏菜さん

今回訪ねたのは、染織作家の門田綾音さん。手織の中でも絳織(かすりおり)という技法を使って着物を中心に制作しています。

染織を始めたきっかけは阪神淡路大震災。ひっくり返った家の片付けをしていた時、母親が集めていた色鮮やかな着物を見つけ、沈んでいた気持ちに「ふわっ」と明るくなったそう。

アトリエは自宅の一室。覗いてみると大きな和機(わばた)がドンと構えていました。3歳の息子さんがよじ登って遊んだり、糸巻き機をぐるぐる回したりと、てんやわんや。道具を説明してもらうのも一苦労です。

制作は神戸の夜景や春雨など、テーマを決めて下図作りから。着物は13メートル程の反物を裁断し、縫い合わせて作るため、模様同士をびったり揃えるには下図の精密さが重要です。次は糸染め。絳織は、部分的に染めた経糸と緯糸を少しずつずらしながら模様を作り

クラフト作家の仕事場を訪ねて

染織作家の門田綾音さん



杼(ひ)という緯糸を通すための道具など



織機の部品も遊び道具に



かどた あやね
門田綾音

作品名「水鏡」

伊丹市在住。大阪芸術大学大学院修了。2002年度展にて京都市長賞受賞。現在は講座「マタノ」として「まかせ」に勤務。HP: <http://ayanoi.sakura.ne.jp>

出します。経緯の重なりを計算して、1本の糸を様々な色に染め分けるという気の遠くなりそうな作業。糸の準備ができたらようやく手織。「織り進めるにつれ、どんどん模様が浮かび上がってくるのが楽しくて」と手織ならではの面白さを教えてくれました。

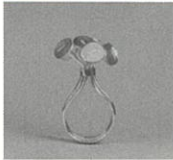
自身が体験したように、「手織の着物を通して、多くの人が華やかな気持ちになって欲しい」と語る門田さん。現在は二人のお子さんとお過ごす時間で1日の大半が終わってしまうそう。「今はショールなどの小物制作になってしまっているから、やりたいことが決まっているから、作家としての焦りはない」という言葉に力強さを感じました。

【取材と文】 湯野宏美 | 伊丹市立工芸センター所属 | 伊丹国際クラフト展や伊丹郷町クラフトショップを通して全国各地の工芸作家とつながる。主に手織や陶芸などの講座を担当。「初めて行った海外はカナダ。素敵なオジサンがいっぱいて高校生ながらもテンション上がりっぱなしでした」

6・13(日)~7・4(日) **キノコ大集合!**

独創的な形と色彩、様々な味と香りで私たちを魅了する「キノコ」。そんなキノコをテーマに、伊丹ジュエリーカレッジの講師・修了生がアイデア溢れる作品を制作します。ジュエリー以外の作品やグッズも満載のキノコワールドに乞うご期待!

工芸センター



【楽しいキノコ大集合展】

6/13(日)~7/4(日)。10:00~18:00(入館は17:30まで。最終日は16:00最終入館、16:30閉館)無料。072-772-5557

6・27(日) **世界最強ブラス、9年ぶりの来日!**

金管奏者たちの永遠の憧れ、シカゴ響ブラス・クインテット。世界最高峰のオーケストラの一つ、シカゴ交響楽団の音を支える精鋭5名が、華麗なるアメリカン・ブラスサウンドの世界を繰り広げます。西日本唯一の公演です。お見逃し無く!

伊丹アイフォニックホール



出演:シカゴ響ブラス・クインテット

【アイフォニック地球音楽シリーズ150 夢のアメリカン・ブラス!】
6/27(日)14:00。一般3,500円、学生2,500円(当日各500円増)。072-780-2110

※イベントにより、未就学児童の入場の制限等がある場合がございます。詳細は各ホールへお問合せ下さい。※いたみホール、アイホール、ラスタホールは火曜日休館。伊丹アイフォニックホールは水曜日休館。美術館、工芸センター、伊丹郷町館、柿衛文庫は月曜日休館。(祝日にあたる時は翌日)

アイテム

2010年4月1日発行(季刊春号・通巻64号)
発行:(財)伊丹市文化振興財団
編集:アイテム編集委員会
表紙イラスト:ニシワキタダシ
デザイン:三澤敏博(総線堂)

〒664-0895 伊丹市宮ノ前1-1-3
伊丹市立文化会館いたみホール内
Tel.072-778-8788 Fax.072-778-8585
http://hccweb1.bai.ne.jp/itamihall/zaidan
Email=itamii-kikaku@ccb.bai.ne.jp

<配布場所>市内・近隣の文化施設でお取りいただける他、こんなところで配布協力いただいています。アリオ1&2、伊丹酒蔵通り、ひがし商店街、タミータウン、宮ノ前商店街、ビバ伊丹、三軒寺前広場周辺のお店、伊丹シティホテル...ほか市内各所



ラスタホール
併設有料駐車場
約30台

市立宮ノ前地下有料駐車場ゾーンのご案内
伊丹アイフォニックホール B・Cゾーン
いたみホール A・Fゾーン
みやのまえ文化の郷 Cゾーン

チケットプレゼント

- 【プチファール 熊田千佳慕展】4/10(土)~5/23(日)。<美術館>5組10名。4月30日必着。
- 【ラスタリックスジャズライブ】5/22(土)14:00。<ラスタホール>2組4名。4月30日必着。

プレゼントをご希望の方は、はがきまたはEメールで郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、アイテムの感想をご記入の上、上記文化振興財団住所宛「アイテムチケットプレゼント係」まで。当選の発表はチケットの発送をもってかさせていただきます。

6・2(水) **“マンボの王様”ラテンのリズム**

「アーウッ!」でお馴染み「マンボ No.5」を生み出したベレス・ブラード。そのサウンドを受け継ぐ楽団がやってくる。ダンサーたちの華麗なダンスも見どころ。エル・マンボ/ペサメ・ムーチョなどラテン音楽の名曲の数々をお楽しみ下さい。

いたみホール



【ベレス・ブラード楽団】
6/2(水)18:30。5,300円。
072-778-8788

6・13(日)~27(日) **多彩な美術の祭典**

年に1度の「伊丹美術協会展」が今年も開催されます。協会員による洋画・日本画・写真・書・彫塑・工芸・デザインと、多様なジャンルの作品を展覧。具象作品から抽象作品まで多彩な美術が集合します。活気あふれる作品展をお楽しみ下さい。

美術館



【平成22年度 伊丹美術協会展】

6/13(日)~27(日)。10:00~18:00(入館は17:30まで。最終日は17:00閉館)。入場無料。072-772-7447

4・24(土) **世相に鋭く切り込む人間ドラマ**

過疎化、高齢化が進む僻地の村唯一の医師が突然失踪。動揺する村を舞台に、人々の証言を元に誰も知らない彼の意外な人物像が明るみになっていく。脚本監督は巧みな心理劇が評価の高い西川美和。出演は笑福亭鶴瓶、瑛太、八千草薫、香川照之。

ラスタホール



【ラスタ映画倶楽部 ディア・ドクター】
4/24(土)10:00/14:00/18:00。一般800円、高校生以下・60歳以上600円(当日各200円増)。072-781-8877

5・22(土) **“日本の原風景”山形の伝統芸能**

山形県遊佐町に伝わる個性ゆたかな三つの芸能と「花笠音頭」に代表される山形民謡をお届けします。山伏神楽が起源の古舞「杉沢比山」、艶やかな花笠を振りゆったりと舞う「吹浦田楽花笠舞」、鬼の面をつけ、各家を回る小正月行事「アマハゲ」など。

伊丹アイフォニックホール



吹浦田楽 花笠舞

【アイフォニック地球音楽シリーズ149 山形の芸能 山麓の郷から】
5/22(土)17:00。一般3,500円、学生2,500円(当日各500円増)。072-780-2110

5・22(土) **懐かしの映画音楽満載!**

カサブランカ、オズの魔法使いなど懐かしの映画音楽をはじめ、ジャズの名曲を、ラスタでは歌声コンサートでお馴染みのEMY(廣野栄美子)のポカールと若手イケメンユニットDomino Effectの演奏でお楽しみ下さい。ムーンリバー、時の過ぎゆくまに、他。

ラスタホール



【ラスタリックスジャズライブ ~懐かしの映画音楽をあなたと~】
5/22(土)14:00。一般1,200円、高校生以下・60歳以上1,000円(当日各200円増)。ソフトドリンク付き。072-781-8877

6・11(金)12(土) **新しいスチームドラム・ライブ**

日本を代表する打楽器奏者、加藤藤子によるスチームドラムを中心としたパーカッションと、音響業界の草分け的存在の宮本宰がサウンド・クリエーションしたシステムを駆使したライブ・エンターテイメント。

アイホール



【SOUND SPACE EXPERIMENT STEEL DRUM WORKS 2010】
6/11(金)19:30、6/12(土)13:30/18:30。一般3,500円(当日500円増)。学生2,000円。072-782-2000

4・10(土)~5・23(日) **桜咲くころ—自然を謳歌する心**

今も昔も、満開の桜や若葉の頃の鳥のさえずりは、人々の心に自然への感動をよびさまします。芭蕉をはじめ、古今の俳人たちの春の花や初夏の鳥たちを詠んだ俳句作品をお楽しみください。

柿衛文庫



宗因貞西鶴画花見西行復息図(部分)

【俳句にみる自然のいぶき—花と鳥】
4/10(土)~5/23(日)。5/3開館、5/6休館。10:00~18:00(入館は17:30まで)。一般200円、大高100円、中小50円。072-782-0244

5・15(土) **野村克也氏、大いに語る!**

愛称「ノムさん」、前 東北楽天ゴールデンイーグルス監督、野村克也氏による講演会。苦勞の末、輝かしい戦績を残した選手時代~監督として低迷する球団を強豪チームに育て上げた過程から得た野村理論や、精神面の重要性等の教訓を大いに語ります。

いたみホール



【熱き語り!「弱者の戦略」講師 野村克也氏】
5/15(土)14:00。一般2,000円、高校生以下1,500円(当日各300円増)。高校生以下は当日要身分証明書。072-778-8788

5・22(土)23(日) **戯曲講座、1年間の集大成**

北村想塾長のもと、1年間筆を磨いてきた伊丹想流私塾14期生の卒業公演。今年の課題は「コント・漫才」。関西の役者の協力を仰ぎ、リーディング上演します。次代を担う新しい才能の登場にご期待ください。

アイホール



【伊丹想流私塾14期生公演】
5/22(土)19:00、5/23(日)14:00。1,200円(当日300円増)。072-782-2000

5・30(日) **お笑いパワー軍団、再来!**

大好評のお笑いバトルが、今年も伊丹にやって来る! アンガールズ、U字工事、他、今が旬のTVでおなじみの豪華出演メンバーが、いたみホールへ集結。自慢のネタを次々と披露します。大爆笑間違いナシのステージは今回も必見。お見逃しなく!

いたみホール



【爆笑!!お笑いバトル2010 in いたみ】
5/30(日)1回目11:30、2回目15:00。3,500円(当日500円増)。072-778-8788